



2017年
10月発行

『30年にわたる観察で明らかにされた
オオカミたちの本当の生活』



カナディアン・ロッキーに現れた、あるオオカミ一家の盛衰を追った貴重な記録。臨場感あふれる写真とともに、「アルファ雄」「序列」「パック」といった従来のオオカミにまつわる概念を覆す、最新の知見を盛り込む。

ギンター ブロッホ // 著 エクスナレッジ 2017.8

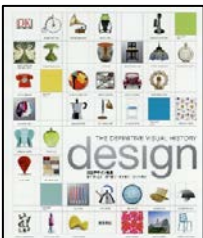
『なくなりそうな世界のことば』



バスク語、コワール語、サーミ語、アイヌ語…。世界の50の少数言語の中から、各言語の研究者たちが思い思いの視点で選んだ「そのことばらしい」単語に、文と絵を添えて紹介します。

吉岡 乾 // 著 創元社 2017.8

『図鑑デザイン全史』



19世紀から21世紀まで、デザインの流れを一望できるよう、時代や動向ごとにデザイナーと作品を紹介。グラフィック、タイポグラフィ、食器、ジュエリー、家具、照明器具、自動車、建築など、幅広いジャンルを網羅。

柏木 博 // 監修 東京書籍 2017.7

『大人のための社会科』



GDP、多数決、公正、希望…。気鋭の社会科学者が、日本の社会を形づくっている12のキーワードを取り上げ、それぞれの意味を根底から吟味。日本社会の「いま」と「これから」を見通す、共通のプラットフォームを提供する。

井手 英策 // ほか著 有斐閣 2017.9

『魚だって考える』



魚だって考えているはずだ。でも何を、どのように？トビハゼの機謙をとり、イダコをけしかける…。魚が考えていることを知りたい広島大学「こころの生物学」研究室の先生と学生たちの、ローテクだけど情熱あふれる奮戦記。

吉田 将之 // 著 築地書館 2017.9

『海の見える駅』



流氷の見える北浜駅、天空に浮かぶ餘部駅…。国内の海の見える駅70を、地域や海ごとに分類し、海岸線をなぞるように配列。休日に停車する列車の一方向の本数やアクセスなどの情報とともにカラー写真で紹介する。

村松 拓 // 著 雷鳥社 2017.8

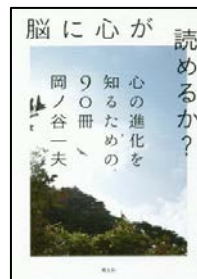
『花の美術と物語』



可憐で、はかない花の姿をいかに永遠にとどめるか…。17世紀のバロック様式と19世紀末のアール・ヌーヴォーを柱として、絵画や装飾デザインなど、ヨーロッパの美術と文学における花の世界をたどる。

海野 弘 // 解説・監修 パイインターナショナル 2017.8

『脳に心が読めるか？』



ダンゴムシに意識はあるのか、来るべき6度目の大絶滅…。90冊の本が伝える、90の魅惑的な世界観。言語とコミュニケーションの起源を研究する科学者による、驚きの読書案内。

岡ノ谷 一夫 // 著 青土社 2017.8

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





『世界の原色の鳥図鑑』

ヒンコ、ムラサキツグミ、オウゴンニワシドリ…。色鮮やかな世界の鳥たちを、「red」「pink」「blue」「yellow」に分け、美しい写真と、学名・分布等のデータとともに紹介する。

川上 和人 // 監修 エクスナレッジ 2017.9

『世界をまどわせた地図』

アトランティス、悪魔の島、朝鮮島…。神話や伝承として語り継がれたものから探検家の間違いや誤解、完全な「でっち上げ」まで、130点を超える美しい古地図と貴重な図版・写真とともに、幻の世界を読み解く。

エドワード ブルック=ヒッチング // 著
日経ナショナルジオグラフィック社 2017.8

『大惨事と情報隠蔽』

なぜ<危険>を隠したがるのか。それはどのように想定外の大惨事へと結びついていくのか。原発事故から金融崩壊まで、幅広い分野の事例を検証。それらに共通する人的要因=情報隠蔽の実態を明らかにし、その原因と対策を示す。

ドミトリ チェルノフ // 著 草思社 2017.8

『アフリカ文化探検』

ブッシュマン、ムブティ・ピグミーなどを対象とした生態人類学的研究をおこない、半世紀におよぶアフリカ研究をリードしてきた著者が、30回にわたる探索と観察調査の記録を年代を追って振り返る。カラー写真も豊富に収録。

田中 二郎 // 著 京都大学学術出版会 2017.7

『ヴィクトリア朝英国人の日常生活 上・下』

歴史研究家が多彩な資料とみずからの実践によって、ヴィクトリア朝の人々の生活を、朝から晩まで順に追う形で紹介する。上は、起床、服を着る、用を足す、身だしなみを整える、朝の運動、朝食、外での仕事、家事を収録。下は、昼食、学校、余暇、夕食、就寝前の入浴、寝室での営みなどを収録。

ルース グッドマン // 著 原書房 2017.7

『招き猫百科』

日本生まれのラッキーゴッド・招き猫。いったいいつ頃からあるのか。どこで、誰が作り始めたのか。色や形にどんな意味があるのか…。招き猫にまつわるいくつもの「なぜ」に、ビジュアルをふんだんに使って答える。

荒川 千尋 // 文 インプレス 2015.9

『日本のものづくり遺産 未来技術遺産のすべて 2』

日本の「産業技術」は、いかにして世界有数になりえたか? 国立科学博物館登録の「未来技術遺産」でたどる、日本で生まれた技術革新の歴史。パーソナルコンピュータ、創薬など、2015~16年に登録された製品を収録する。

山川出版社 2017.8

『100人の数学者』

ピタゴラス、関孝和、ケプラー、フーリエ…。古代ギリシャから現代に至るまでに活躍した100名の数学者をとりあげ、その生い立ちや人物像、数学上の業績を紹介する。数学史を専門とする研究者たちの成果をまとめた一冊。

数学セミナー編集部 // 編 日本評論社 2017.8

『物理2600年の歴史を変えた 51のスケッチ』

ピタゴラスのモノコード、コペルニクスの宇宙観、ガリレオの考えた自由落下…。物理学上の51の発見を時系列に並べ、概念を単純かつ明快に表したスケッチで紹介。それぞれが表す物理現象とその歴史的な位置づけを解説する。

ドン S.レモンズ // 著 プレジデント社 2017.9

『へんな浮世絵』

江戸の人々のハプニングに満ちたユーモラスな日常を描いた、無名の浮世絵師・歌川広景の代表作<江戸名所道戯尽>。これまでまとめて紹介されることなかった作品全50点を掲載する。

歌川 広景 // 画 平凡社 2017.8

*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。
*紹介文はTRCマークより引用。*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

